

VMware Infrastructure 3 入門

ESX Server 3.5、ESX Server 3i バージョン 3.5

VirtualCenter 2.5



VMware Infrastructure 3 入門

リビジョン：20080725

アイテム：JA-000021-00

最新情報を反映したテクニカル ドキュメントは、[VMware Web サイト](http://www.vmware.com/jp/support/)にてご覧いただけます。

<http://www.vmware.com/jp/support/>

VMware Web サイトでは、最新の製品アップデート情報も提供しています。

本ドキュメントに関するコメントがございましたら、以下のアドレスにご連絡ください。

docfeedback@vmware.com

©2008 VMware, Inc. All rights reserved. 本ソフトウェアは、米国特許 (No.6,397,242、6,496,847、6,704,925、6,711,672、6,725,289、6,735,601、6,785,886、6,789,156、6,795,966、6,880,022、6,944,699、6,961,806、6,961,941、7,069,413、7,082,598、7,089,377、7,111,086、7,111,145、7,117,481、7,149,843、7,155,558、7,222,221、7,260,815、7,260,820、7,269,683、7,275,136、7,277,998、7,277,999、7,278,030、7,281,102、7,290,253、および 7,356,679) により保護されています。特許出願中。

VMware、VMware ボックスロゴとデザイン、Virtual SMP および VMotion は、VMware, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。ここに記載されているその他の名称およびマークは各社の商標です。

VMware VirtualCenter 2.5 は、Tom Sawyer Software 社の許諾を受けた特定のサードパーティのテクノロジーを使用しています。

Tom Sawyer Visualization (c) 2004 Tom Sawyer Software, Oakland, California. All Rights Reserved.

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

VMware株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

本書について	5
VMware Infrastructure 3 入門	9
VMware Infrastructure 3 のコンポーネントについて	9
VI Client のガイド付きヘルプと組み合わせたこのマニュアルの使用	11
[はじめに (Getting Started)] タブとは	11
チュートリアルとは	12
VMware Infrastructure 3 のセットアップ手順	12
VirtualCenter サーバと VI Client のインストール	13
要件	13
VirtualCenter サーバ要件	13
VI Client の要件	15
インストール手順	15
VI Client の起動と、VirtualCenter サーバへのログイン	17
データセンターの作成	18
ホストの追加	18
仮想マシンの追加	19
仮想アプライアンスのインポート	19
仮想マシンの作成	19
次の手順	20
VMware Infrastructure チュートリアルの参照	20
オンライン ヘルプと VMware Infrastructure 3 のドキュメントの使用	20

本書について

本書『VMware Infrastructure 3 入門』は、VMware® Infrastructure 3 のユーザー インターフェイス (VMware Infrastructure Client) の [はじめに (Getting Started)] タブにある説明画面の手引書です。[はじめに (Getting Started)] タブには、インターフェイスで現在選択されているインベントリ項目 (ホスト、仮想マシンなど) に関する情報が表示されます。インベントリ項目がまったくない場合は、インベントリ項目の作成と追加に役立つウィザードなど、VMware VirtualCenter サーバの設定に関するガイド付きヘルプが、[はじめに (Getting Started)] タブに表示されます。本書の目的は、VirtualCenter サーバのインストールを支援することです。接続後は、[はじめに (Getting Started)] タブのガイド付きヘルプに従って、インベントリを作成してください。

このガイドの手順を終えると、次の作業が完了できます。

- VirtualCenter サーバのインストール
- [はじめに (Getting Started)] タブのガイド付きヘルプに従った、既存の VMware ESX Server 3.5 ホストの VirtualCenter への追加
- 稼動可能な仮想マシンの作成またはインポート

本書では、VMware Infrastructure 3 環境の基本コンポーネントについても説明しています。

『VMware Infrastructure 3 入門』では、ESX Server 3.5 および ESX Server 3i バージョン 3.5 の両方を取り上げてます。わかりやすく説明するために、本書では慣例的に次の製品名を使用します。

- ESX Server 3.5 に固有の説明の場合、用語「ESX Server 3」を使用します。
- ESX Server 3i バージョン 3.5 に固有の説明の場合、用語「ESX Server 3i」を使用します。

- 両方の製品に共通した説明の場合、用語「ESX Server」を使用します。
- 説明上、リリースを明確に識別することが重要な場合は、バージョンを付けたフルネームの製品名を使用します。
- VMware Infrastructure 3 ESX Server の全バージョンに該当する説明の場合、「ESX Server 3.x」を使用します。

対象読者

本書は、VMware Infrastructure 3 の新規ユーザーを対象にしています。特に、次の方が対象になっています。

- ESX Server ソフトウェアがインストールされたコンピュータがある
- VirtualCenter サーバは、まだインストールされていない

VirtualCenter サーバがインストールされているが、インベントリ項目がまだセットアップされていないというユーザーも、本書を活用できます。

本書に記載されている情報は、Windows または Linux のシステム管理者としての経験があり、データセンター操作に詳しい方を対象としています。

このガイドは、物理マシンに VMware ESX Server ソフトウェアがインストールされていることが前提条件になっています。ESX Server ソフトウェアをお持ちでない場合は、次の URL を参照してください。<http://www.vmware.com/products/>

本書へのフィードバック

ドキュメントの向上にご協力ください。本書に関するコメントがございましたら、下記の電子メールアドレスまでフィードバックをお寄せください。

docfeedback@vmware.com

VMware Infrastructure のドキュメント

VMware Infrastructure ドキュメントは、VMware VirtualCenter のドキュメントと ESX Server のドキュメントを組み合わせて構成しています。

テクニカル サポートおよび教育リソース

ここでは、お客様にご利用いただけるテクニカル サポート リソースを紹介します。本書の最新バージョンおよびその他の文書は、次の Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/support/pubs>

オンラインおよび電話によるサポート

テクニカル サポート リクエストの提出や、製品および契約情報の確認、製品の登録は、オンラインで行うことができます。詳細は、次の URL をご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/support>

該当するサポート契約を結んでいるお客様の場合、迅速な対応が必要な Severity1 の問題に関しては電話でのサポートをご利用ください。詳細は、次の URL をご覧ください。

http://www.vmware.com/jp/support/phone_support.html

サポート サービス

お客様のビジネス ニーズに適した各種サポートの詳細については、次の URL をご覧ください。詳細は、次の URL をご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/support/services>

ヴェイムウェア教育サービス

当社が提供する有償トレーニングでは、広範なハンズオン ラボや事例の紹介をいたします。また、業務の際のリファレンスとしてお使いいただける資料も提供していません。詳細はヴェイムウェア Web サイトにある次の教育サービスのページをご覧ください。

<http://mylearn1.vmware.com/mgrrreg/index.cfm>

VMware Infrastructure 3 入門

VMware Infrastructure 3 は、仮想化を使用して次のことを行うアプリケーションスイートです。

- 複数のオペレーティングシステムを 1 台の物理コンピュータ上で同時に実行する。
- アイドル状態のリソースを再利用し、複数の物理コンピュータ間でワークロードのバランスをとる。
- ハードウェア障害と計画保守への対応を行う。

設定する VMware Infrastructure 3 のコンポーネントについては、「[VMware Infrastructure 3 のコンポーネントについて](#)」で説明します。そのコンポーネントの設定手順については、「[VMware Infrastructure 3 のセットアップ手順](#)」に概要を示します。

VMware Infrastructure 3 のコンポーネントについて

VMware Infrastructure 環境を構成するコンポーネントをよく知ると、設定手順の理解に役立ち、最終的には VMware VirtualCenter を使用した仮想マシンの実行プロセスをよく理解できるようになります。

VMware Infrastructure 3 には、次のコンポーネントが含まれています。

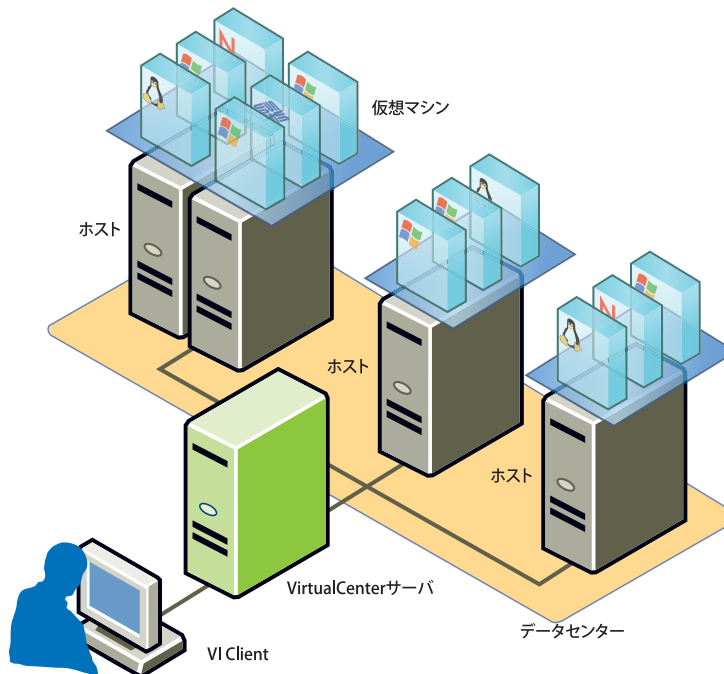
- **ホスト** ホストとは、ESX Server 3.5 や ESX Server 3i などの仮想化ソフトウェアを使用して、仮想マシンを実行するコンピュータです。
ホストは、CPU リソースとメモリ リソース、ストレージへのアクセス、およびそのホスト上にある仮想マシンへのネットワーク接続を提供します。このマニュアルの手順に従うためには、ホストが必要です。
- **VirtualCenter サーバ** VirtualCenter サーバは、複数のホストを同時に管理します。VirtualCenter サーバは各ホストのリソースを一元管理することで、データセンター全体の仮想マシン間で、そのリソースを共有できるようにします。

VirtualCenter サーバで複数のホストを管理することで、VMware DRS (VMware Distributed Resource Scheduler)、VMware HA (VMware High Availability)、VMware VMotion など、VMware Infrastructure の高度な機能を使用できます。

- **VMware Infrastructure Client** VI Client は、VirtualCenter サーバおよびホストに対するリモート管理クライアントです。VI Client を使用すると、VirtualCenter サーバへの接続と管理ができ、各 ESX Server ホストに接続することもできます。インターフェイスには、接続先のサーバのタイプによって異なるオプションが表示されます。VI Client は、仮想マシンへのコンソール アクセスも提供します。
- **データセンター** データセンターとは、ホストを追加し、関連する仮想マシンで VirtualCenter インベントリを編成することのできる構造体です。
- **仮想マシン** 仮想マシンとは、物理コンピュータのようにオペレーティングシステムとアプリケーションを実行するソフトウェア コンピュータです。複数の仮想マシンを同時に同じホスト上で実行できます。VirtualCenter サーバで管理される仮想マシンは、ホストのクラスタ上で実行することもできます。

VMware Infrastructure の基本的なコンポーネント間の関係を [図 1](#) に示します。

図 1. VMware Infrastructure 3 のコンポーネント



VI Client のガイド付きヘルプと組み合わせたこのマニュアルの使用

VMware Infrastructure 3 を構成するコンポーネントを理解できましたので、これでこのマニュアルを使用して VI Client のガイド付きヘルプを利用できます。

次のセクションは、VI Client にあるガイド付きヘルプのコンポーネントを説明したものです。

- [はじめに (Getting Started)] タブとは
- チュートリアルとは

[はじめに (Getting Started)] タブとは

[はじめに (Getting Started)] タブには、インターフェイスで現在選択されているインベントリ項目（ホスト、仮想マシンなど）に関する情報が表示されます。インベントリ項目がまったくない場合は、インベントリ項目の作成と追加に役立つウィザードなど、VirtualCenter サーバの設定に関するガイド付きヘルプが、[はじめに (Getting Started)] タブに表示されます。このマニュアルは、VirtualCenter サーバのインストールおよびログイン後に、[はじめに (Getting Started)] タブのガイド付きヘルプに従ってインベントリを構築するために役立ちます。

[はじめに (Getting Started)] タブは、必ず VI Client の情報パネルの左端のタブとして表示されます。このタブには、インベントリ パネルで現在選択されているオブジェクトに関する情報が表示されます。

3 データ センターの作成

ホストや仮想マシンなどの、VirtualCenter インベントリ オブジェクトの含まれたデータ センターを作成します。既存のホストを VirtualCenter に追加するには、その前にデータ センターを作成する必要があります。

4 ホストの追加

既存の ESX Server 3.5 ホストを VirtualCenter に追加します。このマニュアルの手順に従うためには、ホストが必要です。

5 仮想マシンの追加

作成済みの仮想マシンをインポートするか、仮想マシンを新規作成し、その仮想マシンにゲスト OS と VMware Tools をインストールすることで、仮想マシンをホストに追加します。

VirtualCenter サーバと VI Client のインストール

VMware Infrastructure 3 のセットアップの最初の手順としては、いくつかのコンポーネントをインストールします。ホストはすでにあるはずですが、このセクションでは、VirtualCenter サーバと VI Client のインストール方法について説明します。

最初に、これらのコンポーネントのインストール先となるシステムが、次の「要件」のセクションに示したシステム要件を満たしていることを確認してください。その後、「インストール手順」の手順に従ってください。

要件

次のセクションに、VirtualCenter サーバと VI Client をインストールするための要件を示します。

- [VirtualCenter サーバ要件](#)
- [VI Client の要件](#)

VirtualCenter サーバ要件

VirtualCenter サーバは、データベースへのアクセスが構成された物理マシンまたは仮想マシンにインストールする必要があります。次のセクションに、VirtualCenter サーバのハードウェア要件とソフトウェア要件を示します。

VirtualCenter サーバのハードウェア要件

VirtualCenter サーバのハードウェアは、次の要件を満たしている必要があります。

- **プロセッサ** 2.0 GHz以上のIntelまたはAMD x86 プロセッサ 同一のハードウェア上でデータベースを実行する場合、より大きなプロセッサが必要になる可能性があります。
- **メモリ** 2 GB 以上の RAM。同一のハードウェア上でデータベースを実行する場合、より大きな RAM が必要になる可能性があります。
- **ディスクストレージ** 560 MB 以上 (2 GB 推奨)。プログラムのインストール先のドライブには、245 MB の空き領域が必要です。%temp% ディレクトリを格納するドライブには、315 MB の空き領域が必要です。

注意 VirtualCenter サーバマシンと同一のハードウェア上でデータベースを実行する場合は、より大きなストレージが必要な場合があります。データベースのサイズは、管理するホストおよび仮想マシンの数によって異なります。25 台のホストで、1 ホストあたり 8 ~ 16 台の仮想マシンにデフォルト設定をして 1 年間使用する場合、データベースの合計サイズが最大で 2.2 GB (SQL の場合) または 1.0 GB (Oracle の場合) を消費する可能性があります。

- **Microsoft SQL Server 2005 Express ディスク要件** データベースでは、インストールアーカイブの解凍に 2 GB の空きディスク領域が必要です。ただし、インストールが完了すると、これらのファイルの約 1.5 GB が削除されます。バンドルされている Microsoft SQL Server 2005 Express は、小規模の導入 (最大 5 台のホストと 50 の仮想マシン) でサポートされています。大規模な導入向けには、VUE はいくつかの Oracle データベースおよび Microsoft SQL Server データベースをサポートしています。
- **ネットワーク** 推奨はギガビットです。

VirtualCenter サーバのソフトウェア要件

VirtualCenter サーバは、次のオペレーティングシステムの 32 ビットバージョンでサポートされます。Windows 2000 Server SP4 (Update Rollup 1)、Windows XP Pro SP2、Windows 2003 Server SP1、Windows 2003 Server SP2、Windows 2003 Server R2。

Windows Server 2003 SP1 以外のすべてのオペレーティングシステムの場合、Windows Installer 3.1 をインストールしないと、VirtualCenter のインストールに失敗することがあります。Windows Installer 3.1 のダウンロードについては、<http://support.microsoft.com/?id=893803> を参照してください。

VirtualCenter2x のインストールは、64 ビット オペレーティングシステムでサポートされていません。

VirtualCenter インストーラの実行には、Internet Explorer 5.5 以上が必要です。

VI Client の要件

次のセクションに、VI Client のハードウェア要件とソフトウェア要件を示します。

VI Client のハードウェア要件

VI Client のハードウェアは、次の要件を満たす必要があります。

- **プロセッサ** 266 MHz 以上の Intel または AMD x86 プロセッサ (500 MHz 推奨)
- **メモリ** 256 MB 以上の RAM (512 MB 推奨)
- **ディスクストレージ** 基本インストールには 150 MB の空き領域が必要です。プログラムのインストール先のドライブには、55 MB の空き領域が必要です。
%temp% ディレクトリを格納するドライブには、100 MB の空き領域が必要です。
- **ネットワーク** 推奨はギガビットです。

VI Client のソフトウェア要件

VI Client は、次のオペレーティングシステム用に設計されています。Windows 2000 Pro SP4、Windows 2000 Server SP4 (Update Rollup 1)、Windows XP Pro SP2、Windows 2003 SP1 (64 ビット版以外の全リリース)、Windows 2003 Server R2、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise の各オペレーティングシステム用に設計されています。

注意 VI Client には、Microsoft .NET 2.0 Framework が必要です。システムにインストールされていない場合は、VI Client のインストーラが自動的にインストールします。

インストール手順

VirtualCenter サーバと VI Client のインストールは、どちらもウィザードによって手順がガイドされます。

VirtualCenter サーバと VI Client をインストールするには

- 1 Windows システムに Administrator でログインし、インストール CD を挿入します。
- 2 インストーラの言語を選択し、[OK] をクリックします。
- 3 VMware Infrastructure Management Installer の画面が表示されたら、[次へ (Next)] をクリックします。

インストールパッケージをダウンロードした場合は、autorun.exe アイコンをダブルクリックして [次へ (Next)] をクリックします。

VirtualCenter Server をインストールすることの利点を示した、[はじめに (Introduction)] ページが表示されます。

- 4 [次へ (Next)] をクリックします。
- 5 [使用許諾契約書に同意します (I accept the terms in the license agreement)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
- 6 [ユーザー情報 (Customer Information)] ページにユーザー名と企業名を入力し、[次へ (Next)] をクリックします。
- 7 [インストールタイプ (Installation Type)] で、[VMware VirtualCenter サーバ (VirtualCenter Server)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
- 8 [データベースの選択 (Database Selection)] ページで、[Microsoft SQL Server 2005 Express のインストール (Install Microsoft SQL Server 2005 Express)] を選択します。

VMware Infrastructure Management Installer によって、Microsoft SQL Server 2005 Express データベースがインストールされます。

このオプションを選択した場合、エンタープライズ版の VirtualCenter は評価モードでインストールされます。VMware ライセンス サーバもインストールされるため、評価期間中または評価期間の終了後にライセンス モードに切り替えることができます。バンドルされている Microsoft SQL Server 2005 Express は、小規模の導入（最大 5 台のホストと 50 の仮想マシン）でサポートされています。大規模な導入向けには、VEMUEA はいくつかの Oracle データベースおよび Microsoft SQL Server データベースをサポートしています。

注意 すでに VirtualCenter のライセンスを持っている場合は、あとでそれをライセンス サーバにインストールします。

- 9 [次へ (Next)] をクリックします。
- 10 VMware Infrastructure のインストール先システムにログインするときに使用する、Windows の管理者ユーザー名とパスワードを入力し、[次へ (Next)] をクリックします。

注意 VI Client を使用して VirtualCenter サーバにログインするときに、このユーザー名とパスワードが必要になります。

- 11 [インストール (Install)] をクリックします。
インストールには数分かかる場合があります。選択したコンポーネントのインストール中は、複数のプログレスバーが表示されます。
- 12 インストールするコンポーネントごとに、ポートおよびプロキシ情報を入力するか、画面に表示されたデフォルト情報のままにします。
[次へ (Next)] をクリックし、次の画面に進みます。

- 13 [終了 (Finish)] をクリックして VMware Infrastructure Management のインストールを終了します。

インストールの完了後は、VI Client を使用して VirtualCenter サーバに接続します。

VI Client の起動と、VirtualCenter サーバへのログイン

VI Client を使用して、VirtualCenter サーバに接続します。VirtualCenter サーバに接続すると、VirtualCenter サーバ、およびそのサーバで管理されるすべてのホストと仮想マシンを管理できます。

VI Client セッションを開始するには

- 1 ショートカットをダブルクリックするか、[スタート (Start)] - [プログラム (Programs)] - [VMware] - [VMware Infrastructure Client] を選択して VI Client を起動します。
- 2 VirtualCenter サーバに管理者でログインします。
 - a IP アドレスまたは VirtualCenter サーバ名を入力します。
 - b Windows の管理者ユーザー名を入力します。
 - c Windows の管理者のパスワードを入力します。
- 3 [ログイン (Login)] をクリックします。

VI Client で VirtualCenter サーバに接続後は、データ センターを作成します。

データセンターの作成

VMware Infrastructure 3 のコンポーネントをセットアップする最初の手順は、データセンターの作成です。データセンターとは、ホストとそれに関連する仮想マシンを、VirtualCenter インベントリ内で編成することのできる構造体です。

VirtualCenter サーバに最初にログインした場合は、左側の [インベントリ (Inventory)] パネルにインベントリ項目がないはずですが、右の [はじめに (Getting Started)] タブには、インベントリ項目の追加方法のガイドが示されます。

データセンターを作成するには

- 1 左の [インベントリ (Inventory)] パネルでルート ノード フォルダ [ホストおよびクラスター (Hosts & Clusters)] を選択します。
- 2 右の [はじめに (Getting Started)] タブの画面表示に従い、[データセンターの作成 (Create a datacenter)] をクリックします。
- 3 そのデータセンターを選択し、名前を入力して名前を付けて <Enter> キーを押します。

データセンターの作成後は、そこにホストを追加します。

ホストの追加

ホストとは、ESX Server や ESX Server 3i などの仮想化ソフトウェアを使用して、仮想マシンを実行するコンピュータです。データセンターにホストを追加すると、そのホストが VirtualCenter で管理されるようになります。

注意 ESX Server ソフトウェアは、VirtualCenter に追加するコンピュータにインストールする必要があります。

ホストを追加するには

- 1 左の [インベントリ (Inventory)] パネルで、今作成したデータセンターを選択します。
- 2 [はじめに (Getting Started)] タブの画面表示に従い、[ホストの追加 (Add a host)] をクリックします。
- 3 [ホストの追加 (Add Host)] ウィザードの画面表示に従います。

ホストの追加後は、そのホスト上で実行する仮想マシンを追加します。

仮想マシンの追加

仮想マシンをホストに追加する方法はいくつかあります。インベントリで今追加したホストを選択すると、仮想アプライアンスのインポート方法、および新しい仮想マシンの作成方法に関する説明が、[はじめに (Getting Started)] に表示されます。いずれかのオプションを選択し、最初の仮想マシンを追加してください。

仮想アプライアンスのインポート

仮想アプライアンスとは、オペレーティングシステムとアプリケーションがインストールされた事前作成済みの仮想マシンです。

仮想アプライアンスをインポートするには

- 1 [インベントリ (Inventory)] パネルで、インベントリに追加したばかりのホストを選択します。
- 2 [はじめに (Getting Started)] タブの画面表示に従い、[仮想アプライアンスのインポート (Import a Virtual Appliance)] をクリックします。
- 3 [仮想アプライアンスのインポート (Import Virtual Appliance)] ウィザードの画面表示に従います。

仮想アプライアンスのインポート後は、その仮想アプライアンスをパワーオンして VI Client の [コンソール (Console)] タブに表示し、その機能を確認してください。コンソールからカーソルを開放するには、<Alt>+<Control> キーを同時に押します。コンソールを全画面モードで表示するには、[インベントリ (Inventory)] で仮想マシンを右クリックし、[コンソールを開く (Open Console)] を選択します。

仮想マシンの使用方法について詳しく調べるには、[はじめに (Getting Started)] タブの右下にある [関連トピック (Explore Further)] リンクをクリックし、VMware Infrastructure チュートリアルにアクセスしてください。

仮想マシンの作成

新しい仮想マシンの作成は、コンピュータの作成に似ています。作成後は、そこにゲスト OS、アプリケーション、および VMware Tools をインストールする必要があります。新しい仮想マシンを作成するときは、その前にその仮想マシンの配置先となるホストまたはクラスタ、新しい仮想マシンにインストールするゲスト OS のタイプ、インストール用の CD またはイメージ ファイルの場所を決定してください。

仮想マシンを作成するには

- 1 [インベントリ (Inventory)] パネルで、インベントリに追加したばかりのホストを選択します。

- 2 [はじめに (Getting Started)] タブの画面表示に従い、[新規仮想マシンの作成 (Create a New Virtual Machine)] をクリックします。
- 3 [新規仮想マシンの作成 (Create New Virtual Machine)] ウィザードの画面表示に従います。

新しい仮想マシンが作成できたら、そこにゲスト OS と VMware Tools をインストールします。仮想マシンにインストールするオペレーティングシステムの ISO イメージとライセンスがあることを確認してください。ゲスト OS と VMware Tools のインストール方法については、VMware Infrastructure チュートリアルに説明があります。このチュートリアルにアクセスするには、[はじめに (Getting Started)] タブの [関連トピック (Explore Further)] リンクをたどってください。

次の手順

次の作業が完了していることを確認してください。

- VirtualCenter サーバと VI Client のインストール
- VI Client を使用した VirtualCenter サーバへのログイン
- データ センターの作成
- VirtualCenter インベントリへの ESXServer ホストの追加
- 仮想マシンのデプロイ

これで、インベントリに基本的なオブジェクトが追加されましたので、VMware Infrastructure チュートリアルと資料を参照しながら VMware Infrastructure 3 の使用方法を学習してください。

VMware Infrastructure チュートリアルの参照

チュートリアルにアクセスするには、[はじめに (Getting Started)] タブの [関連トピック (Explore Further)] リンクをクリックするか、VI Client で [ヘルプ (Help)] - [チュートリアル (Tutorial)] を選択します。

オンラインヘルプと VMware Infrastructure 3 のドキュメントの使用

オンラインヘルプには、VI Client のすべてのセッションにある [ヘルプ (Help)] メニューからアクセスできます。

高度な管理タスクの多くは、このガイドに説明がありません。このマニュアルやその他のマニュアルの最新バージョンについては、

<http://www.vmware.com/jp/support/pubs/> にアクセスしてください。